

キャストサポートグッズを取り入れている
医療法人社団ひまわり会 あおき整形外科 院長の青木 信一先生に聞きました。

足を骨折した患者さんの サポートグッズの必要性について

医療法人社団ひまわり会 あおき整形外科

院長 医学博士 **青木 信一** 先生



■ 骨折患者さんに対する治療方針

快適なギプス生活の為に

足部や下腿部の骨折をしてしまった時、多くの場合ギプスを1カ月から1カ月半の期間装着して治療します。

ギプスは、基本的には取り外しできないため、ギプスを濡らしたり汚したりしないようにすること、松葉杖を使って歩行する際に荷重をしないことをお願いしています。

■ サポートグッズの導入背景

外出時のリスクを防ぐ

松葉杖での歩行は不安定なため、通院や通勤通学の際に、ギプスを床や地面につけてしまい、ギプスが汚れてしまう…。また、ギプスの上からサンダルを履いても、雨に濡れてしまい、指先が冷えて寒い…。日常診療でも、このような患者さんからの相談を頻繁に耳にします。

大きなサイズのサンダルを購入してもらったり、ビニール袋でギプスを覆って外出をするようにアドバイスをするしかありませんでした。キャストシューの存在を知ったのは、そんな折です。ぜひ私のクリニックで使用してみようと早速導入したのがきっかけです。

■ 導入して良かったこと

患者さんが喜んでくれています

- サンダルとは違い、足部が完全に覆われるため、ギプスの汚れや濡れを防ぎ、患部を清潔に保つことができます。
- 寒い季節には、防寒にもなります。

